

令和2年度 さいたま市立 植水小学校 自己評価書

1 各項目について

(1) 「児童生徒の学力・学習状況」

教職員一人ひとりの創意を生かし、校内組織・分掌の機能を十分に発揮した積極的な教育活動に努める。

(2) 「教員の授業にかかわる評価」

教育者としての自覚と誇りをもち、研修に精進し、互いに磨き合い指導力の向上を図る。

(3) 「各教科の授業の状況」

個に応じたきめ細やかな指導の充実を図り、確かな学力の向上に努めるとともに、子どもたち一人ひとりのよさや可能性を伸ばす教育を推進する。

(4) 「児童生徒の安全・安心」「いじめ防止等」

豊かな心を育てる安全で落ち着いた美しい教育環境の整備に努める。

(5) 「学校と保護者、地域住民との連携の状況」

家庭・地域・行政との連携・協力を深め、地域に根ざした信頼される学校づくりを進める。

2 評価結果について (成果○ 課題について今後の取組▲)

(1) ○算数においては、児童の実態や単元の特質を生かした授業形態の工夫を行ったことで、効果的な学習が実施できた。

▲基礎学力の定着が課題である。発達段階に応じた学び方について教職員で研修を重ねていきたい。

(2) ○課題研修では、実態に即した研修となるように、児童に「つけたい力」は何かを検討し、手立てを講じた国語の授業研究を通して検証することで、指導力の向上を図った。

▲植水小学校授業スタイルの充実とともに授業改善を図り、教師の指導力の向上、効果的な個別指導を適切に行っていく。

(3) ○生徒指導委員会を定期的実施したり、必要に応じたケース会議を開催したりすることで、SC、SSW、関係機関等と連携しながら複数で共通理解のもと対応することができた。

▲児童理解研修を年度当初に実施することで、配慮が必要な児童についての共通理解を図る。また、必要に応じた組織的な対応を継続して行っていく。

(4) ○報告、連絡、相談、見届けを徹底することで、適切なトラブル対応が実施できた。また、地域の方々の見守りのおかげで安全な登下校ができています。

▲家庭や地域の方からの情報に耳を傾け、情報を共有していくことを継続する。

(5) ○ホームページ、学校安心メールや学校便りを通して、学校の様子を伝えることができた。

▲新しい生活様式に沿ったコミュニティ・スクールの準備を進めていく。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

・学校行事においては、ねらいを明確にし、子どもたちに付けたい力は何かを明確にして、効果的な取組となるようにPDCAサイクルを実施する。また、新しい生活様式を踏まえ、さらに教育効果を高められる教育計画を立てるようになる。

・学習においては、教員が学校課題研修等を通して授業改善を図り、指導力の向上に努めるようになることで、児童に確かな学力を身に付けさせるようになる。

・生徒指導、教育相談、特別支援教育に教職員が一丸となって取り組み、迅速・丁寧・誠実・アフターケアを心掛けた対応を行っていく。また、組織を活用すると共に、教員一人ですべての対応をすることのないように報告・連絡・相談・見届けの徹底を図る。